



かけ 懸
はし 橋



おいらせ砂浜祭り（トラクターと共に）

（写真提供：おいらせ町文化協会 写撮会 小向栄逸氏）

もくじ

■ 第2回定例会・第3回臨時会	2～3頁
■ 一般質問	4～9頁
■ 編集後記	10頁

おいらせ町地域振興基金条例などを制定

基金の額 1 2 億 3 千万円を一般会計予算に計上

平成十八年第二回定例会が、六月九日から十五日までの七日間の会期で開かれ、合併後初の本予算となる一般会計予算や条例など、二十件の議案を審議した結果、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

また、議案審議に先立ち、三村町長が町政運営について所信を明らかにしました。

主な議案の内容

理者の指定の手続等に関するもの。

◆おいらせ町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の制定

指定管理者制度を導入するにあたり、公の施設の管理を行わせる指定管



所信表明をする三村町長

◆おいらせ町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償額に関する条例の一部改正

教育委員会に配置する
外国語指導助手の報酬額を月額二十万円とするもの。



定例会

◆障害者自立支援法第十五条に規定する市町村審査会の事務の委託について

八戸市に障害者自立支援法第十五条に規定する市町村審査会の事務の委託をするもの。

◆平成十七年度おいらせ町一般会計繰越明許費繰越計算書について

おおぞら保育園改築整備費補助事業に係る繰越計算書の報告をするもの。

第三回臨時会

平成十八年第三回臨時会が七月二十日に開かれ、契約に関する議案二件について審議した結果、原案のとおり可決しました。

議案の内容

◆奥入瀬西団地建築工事請負契約の締結について

- ・契約金額 九千五百五十五万円
- ・契約の相手方 株式会社 柏崎組

◆戸籍電子化システム機器購入契約の締結について

- ・契約金額 二千百万円
- ・契約の相手方 富士ゼロックスシステムサービス株式会社
- ・公共システム事業部東北支店

総額102億1千20万円 前年度比17.5%増

基金を除いた旧町当初予算合計の前年度比は3.4%の増

平成十八年度一般会計及び特別会計並びに企業会計予算を審査する予算特別委員会（議員全員で構成）は、六月十三日、十四日、十五日の3日間にわたり開かれ、町当局と議員との活発な質疑・応答を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

◆一般会計

総額を百一億一千二百万円とした。

◆国民健康保険特別会計

総額を二十一億九千七百二十八万五千円とした。

◆老人保健特別会計

総額を十四億六千七百一十三万三千円とした。

◆介護保険特別会計

総額を十五億三千八百五十二万二千円とした。

◆病院事業会計

収益的収入及び支出を八億六千九百六十九万六千円とし、資本的収入及び

支出を一億一千七百三十七万一千円とした。

◆奨学資金貸付事業特別会計

総額を一千四百四十九万二千円とした。

◆公共下水道事業特別会計

総額を十三億五千二百三十四万二千円とした。

◆農業集落排水事業特別会計

総額を九千三百八十万六千円とした。

◆霊園事業特別会計

総額を一千四百四万三千円とした。

◆訪問看護ステーション特別会計

総額を一千九十二万三千円とした。

◆公共用地取得事業特別会計

総額を四千六百万六千円とした。



予算特別委員会

一般会計・歳出の主な事業

(千円)

○町営住宅(奥入瀬西団地)建替事業	175,143	○木ノ下中学校屋外教育環境整備事業	98,150
○前蒼前地区基盤整備促進事業	148,784	○町道改良舗装事業	92,412
○(仮称) 南部児童センター建設事業	111,250	木ノ下・三沢線道路拡幅事業	
○TV共同受信施設設置事業	71,298	○橋梁整備(幸橋改修)事業	65,526
○いちょう公園整備事業	54,666	○漁港整備事業	60,000
○消防施設整備事業	23,042	○公共サイン整備事業	42,634
百石消防団第5分団消防自動車購入		○公園整備事業	27,795
○町道改良舗装事業	81,202	木内々地区公園土地購入費	
間木・百石1号線		○消防施設整備事業	30,491
		下田消防団第1分団消防自動車購入	(19,200)
		下田消防団第4分団屯所整備	(11,291)
		○町内生活道路整備事業	47,266
		○町内生活道路維持補修整備事業	40,000

※左欄は補助事業費の主なもの
右欄は単独事業費の主なもの



吉田 絹恵 議員

小学校の 英語教育は

質問 国際化が進む中、英語教育について色々と論議されております。

当町でもA・L・Tによる英語授業、幼稚園・保育園でも外国人教師による英会話活動が行われておりますが、その経過、成果、現在の様子を伺いたい。

答弁 小学校の英語教育については必修化の議論がされておりますが、これに異を唱える者が多いことも事実です。

中央審議会の答申を見守るとしながらも、現在は、二名のA・L・Tにより英語活動を実施しており

ますが、今一人、町職員として採用し、さらにこの英語活動に力を入れていきたいと考えています。英語の成果については、学校の要請・希望で派遣していただきますので、時間の違

いにより均等な成果とは言えないまでも、中学校での英語学習の導入がスムーズにいくとの学校等の声があります。

※A・L・T

外国語指導助手



英語にふれる保育園児

部活動の応援団事業について

質問 今、子供同士の人間関係が希薄になっていく現状の中で、教室外での子供同士の学びが部活にはあります。人間関係、スポーツ、文化等々。学校でできないのであれば町がその環境をつくり支援すべきであると考えますが、これについてお聞きしたい。

答弁 現在行われている部活動は、教育課程内での活動と、それに接続してスポーツ少年団活動という、この二面を合体させて行っているというのが現状です。町内八校での部活動の数は四十七の多くを数え、その応援団すなわち後援会組織は小学校ではほとんどにあり、中学校では一部持っていない部活動



部活動に励む中学生

もありませんが、必要あるときは、保護者と連絡を取り合いながらその支援を行っています。これからも生きる力の育成の場としてとらえ、関係機関と協力態勢をとりながら部活動の支援、あるいは、後援活動に不便を来たしているところ等は解消、検討していきたい。

**幼稚園・保育園
小学校の連携は**
質問 教育の一貫性、連携について問われている現在、幼稚園・保育園・小学校の連携についてどのように考えているか。

答弁 とても重要な問題と考えています。特に幼・小の連携は、義務教育との最初の出会いとなります。さらに、小・中の連携あるいは中・高の連携、いろいろな形で進んでおります。

昨今、一年プロブレムが問題になります。小学校一年の段階、中学校一年の段階、高校一年の段階の生活態度あるいは学習参加態度で問題があると言われています。連携の充実により、問題の解消を図っていきたいと思っています。

「玄関から玄関へ」 家と病院の送迎について

質問 昨今の家族構成は、核家族や女性の社会進出による共働き夫婦が主流となり、加えて少子高齢化も進み、病院にお世話になる方も多い。お年寄りも共働きをせざるを得ない家族も安心して仕事に従って、一人暮らしのお年寄りたちの安心安全のためにも、家庭の玄関から病院の玄関へと送迎できるような態勢をつくれぬものか。

答弁 おいらせ町として福祉の町を目指しており、問題点等については担当課を通して現状を十分把握して、対応するよう検討し、きめ細かい、かゆいところにも手の届くような福祉政策を充実させた。また、おいらせ病院へのバスの連携についても十分担当課で検討させ、受診していただけるような力のある医師も揃えています。交通手段の不便さ等可能な限り住民の利便を図る方向で、前向きに検討していきたい。

個別受信機の設置は

設置は

質問 現在、防災無線は全町で八十四基ありますが、老朽化も進み拡声器の向きや風の流れ等により戸外に出てもほとんど聞き取り理解することができません。このことに対する町民の不安は募る一方です。そこで全戸設置に向けての計画はある

答弁 すべてのおいらせ町民が、等しく防災情報をはじめとする様々な行政情報を知るためには、個別受信機の設置も一つの手段と思っております。しかし、それには無線放送の周波数を一本化し、旧百石・旧下田の防災行政用無線施設の統合を図ることが前提となります。旧下田町の防災無線放



いきいきすこやかな笑顔

のか。あるとしたらどのような形でやっていくのか。

答弁 庁の補助事業があるのか情報収集をしまして、今後、町財政状況を考慮しながら前向きに対応していきます。

安心安全、防犯のための防犯街路灯の設置について

質問 このところ毎日のように子供の連れ去り、殺人事件が報道されている中、北部地区でも不審者が徘徊し、新聞等にも

報道されており、子を持つ親の不安は頂点に達しております。特に学校周辺や通学路は想像以上に暗く、一日も早い整備が必要と思えます。そこで、防犯街路灯の整備計画は考えているのでしょうか。あるとしたらそれはいつ頃からになるのか。

答弁 地域別に見ますとまだ整備格差があります。特に、急速に宅地化が進んでいる旧下田の北部地域においては、この格差は顕著であり、防犯上の早急な整備が必要であると認識しております。主に下田地区を重点に年次計画をもって街路灯整備事業を実施することとし、今年度は街路灯の現況調査及び町内会の要望集約を行い、平成十九年度から二十年度の二カ年で設置工事を確実に実行いたします。



防犯街路灯のない木ノ下小学校前



日野口 和子 議員

向けての計画はある

06年度の一般会計本予算編成の 基本方針と行財政運営は



議員 四樓 佐々木

あつて、一般会計では十七・五%の大幅な伸びとなりました。今後とも私としては、新町における「健全財政に基づく創造的な行政運営」を念頭に、着実な発

質問 〇六年度一般会計当初予算で、県内三十八市町村の総額が約五千億円で、〇五年度に比べ約七十億円、一・四%減の緊縮型となり、市町村財政の硬直化が加速している傾向が浮き彫りになった。

このことから、〇六年度において住民サービスの向上を図るために、予算執行の主要施策を重視し、新町の「奥入瀬の清流にはぐくまれた田園定住都市づくり」の実現にむけ、財政基盤の確立と行財政運営の方策について伺いたい。

答弁 所信表明と提案理由の中でも触れましたように、合併協議の過程で策定した新町建設計画に掲げております「奥入瀬の清流に育まれた田園定住都市」構想をイメージに、〇自然や田園と調和したまち等、六つの基本方針を掲げて編成にあたりました。

特に本年度は合併移行に係わる関連経費を取り込み、積極的に対応しました。

その結果、県内市町村が軒並み減額の計上を余儀なくされている中、合併特例債を活用した十二億三千万円の「地域振興基金」を造成したこともあつて、一般会計では十七・五%の大幅な伸びとなりました。

展を目指す所存でありません。

北海道・東北沖の津波対策強化地域指定での「対策計画」の推進について

質問 〇六年三月、政府の中央防災会議で、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の津波対策を促進する基本計画案が明らかになり、本県の八市町村がいにある六十八市町村が指定された。

これを受けて、県との連携を図りながら、海岸沿いの住民の安全・安心な生活確保の取り組みが不可欠である。よって、自主的に避難できる体制づくりの「対策計画」の推進について伺いたい。

答弁 対策計画は今のところ、作成すべき事業者施設は五つの施設で〇深沢地区生活会館〇川口地区コミュニティセンター〇明神山コミュニティ防

災センター 〇堀切川地区コミュニティセンターとして川口保育園となっており、そのうち集会所の四カ所は町の施設であるため、町が対策計画を作成し、川口保育園に対しては対策計画の作成を指導していくこととなります。

それに先立ち、町の推進計画の作成も必要となるのですが、今年度作成予定のおいらせ町地域防災計画の中で独立した章として作成し、素案を提出するよう県から指導を受けておりますので、国の中央防災会議で策定された基本計画を参考に、早急に作成し対処して参りたいと考えております。

国保おいらせ病院の医業収益の見通しと経営改善計画は

質問 県内の多くの自治体病院は、不採算部門を抱えながら、深刻な医師不足や本年度からの診療報酬引き下げ、国の医療制度改革など、経営の厳しさを増すことが予想されている。

このことから「地域医療のサービスマ提供体制」の充実を図りながら、地域住民の健康と命を守るため、医師確保と病院の経営改善計画について伺いたい。

答弁 当町においても、医師確保は最重要課題の一つであり、町内出身の医師や知人、友人、医科大学等各方面からの情報提供とインターネットを活用しながら医師確保に努めております。

幸いにして当病院は平成十八年四月末での医師充足

率は約九十%を確保しております。

平成十七年度決算見込みは、医師や医療スタッフの努力により約四千四百万円程度の黒字となる見込みであります。

しかし、今後も安定した病院経営を維持するには、医師確保を引き続き最重点として取り組んで参ります。

病院建設の企業債償還が終了する平成二十三年度に合わせて、「病院のリフォーム」を行いたいと考えております。



国保おいらせ病院



議員 恭子 市種

報の公開及び、提供を規定する。

三、協働の手法：

行政側の政策原案を公表し、広く住民の意見を募り政策等の決定を行う制度や、

政策提案制度の整備充実及び、基本計画策定における住民参加の機会の確保等について規定する。

四、協働の推進：住民

活動の推進、地域コミュニティ活動及び、自治の推進を規定する。

五、評価制度の公表：

協働のまちづくりに沿った行政運営が推進されるよう各種事務事業の評価制度を整備し、評価結果の公表を規定する。

全国の先進事例を参考にしながら、おいらせ町にふさわしい条例にした

い。

環境美化条例の制定については、十二月定例議会を目標して町民参加のもと制定したい。今後、

検討する条例に不法投棄ポイ捨て、自動車等の放置、ペットの糞の放置、

落書き等の禁止項目を設け、又、自動販売機の設置及び管理者には、回収容器の設置を義務付ける。違反者には指導又は勧告を行い措置命令に従わない者に対しては、公表や過料を課すことも盛り込みたいと考えています。

あいさつ

運動について

質問 庁舎内の雰囲気が暗いとのことで、あいさつ運動によ

って明るくしたいとのことですが、どのように運動を展開するのか。

答弁 毎年

あいさつ推進月間を定め、町民提案型のソフト事業として運動を継続して展開したいと考

えています。

質問 おいらせ塾で接客

マナー等学んでいる職員から見本を示して町民へ広げていった方が有効だ

と思うが。

答弁 まず、職員から町

民に対して心を開いて率先して声をかけていきたい。

そして、その輪を全町民に広げていって、おいらせ町は明るく元気なさわやかな町で気持ちがい

い、そういうおいらせ町を築くよう、まず百八十八名の職員自らスタートし

ていきたいと考えており、実行していきます。

百石高校への介護福祉科増設を

質問 町長の公約でもあ

りました百石高校への介護福祉科の設置について、町民は大きな期待を持っています。開設の時期、募集人数、資格等について伺いたい。

答弁 開設の時期については、高校改革で平成二十二年までの間に十二校が統廃合される予定で、特に今回のグ

ランドデザインを来年九月頃に出すということですので、今、要望書を出しておけば、そのあたりで方向性が出てくるのではと思っています。募集人数については、も

し設置した場合、高校生減少傾向から校長のお話によりますと、普通科を二クラスにして介護福祉科を一クラス設置できるのかなということでした。資格については、介護福祉士は三年目の時に国家試験を受けることができ、合格していれば卒業と同時にその資格を得ることになります。



おいらせ塾開講式



百石高校

住民自治基本条例と環境美化条例の制定について

質問 住民自治基本条例と環境美化条例の制定についての具体的な取り組みは

答弁 住民自治基本条例は合併協議会の決定を受け平成二十年四月一日の公布に向けて、素案の骨子は次のように考え作業を進めて行きたい。

一、権利と義務：住民事業者、町、町長、議会それぞれの責務において協働のまちづくりの推進を規定する。

二、情報の共有の原則：町、住民、事業者が相互の信頼関係を築くため情

新町建設計画について

質問 新町建設計画の基
本方針や施策については
合併協議会の概要版で述
べられているが、合併後
に決定した具体的な事業
計画があれば伺いたい。

答弁 合併時に五十二事
業について施策検討委員
会で決定し、百石漁港整
備負担金、間木百石一号
線、奥入瀬西団地立替替
え事業等、合計十二事業
については実施を確認し
ており、総事業費は約二
十億円になります。また、
今後五年間、十年間の具
体的な事業計画について
は秋までに精査したいと
考えています。



馬場 正治 議員

木内ター川口線
を往来する車両
が急増しており、
この路線の間木、
染屋、木崎、秋
堂地区は道幅が
狭くカーブが多
いためパイパス
化を急ぐ考えは？

答弁 本庁舎と
分庁舎を結ぶア
クセス道路につ
いて、問題の路
線を拡幅整備する場合の
事業費は移転補償費を含
め二十七億円程度と試算
され財政上大変厳しいが、
新町の重要路線と位置づ
け今後パイパス化を含め
国、県と協議しながら実
現に向けて検討していき
たいと考えています。

質問 木内々踏切の
渋滞解消策は？

答弁 木内々踏切に
ついて、線路の下に
道路を通すとなれば



狭くカーブが多い木内ター川口線

大変な金額が伴うためな
かなか難しいと思います
が、諦めないで検討して
いきたいと思っています。

質問 通学路である同区
間の交通安全対策は？

答弁 交通安全対策につ
いては、子供たちの安全、
通行人の安全確保が第一
であり、いろいろな知恵
を絞って対策を講じたい
と思います。

並行在来線の地元負担について

質問 東北新幹
線新青森駅開業
後の並行在来線
は第三セクター
青い森鉄道が引
き継ぐことになっ
ているが、町内
に二つの駅を持
ち通勤、通学の
貴重な足を確保
しているわが町
の、予想される
負担金について
伺いたい。

答弁 東北新幹線八戸一
新青森間の平成二十二年
度開業に伴い経営分離さ
れる並行在来線を含めた
青い森鉄道の青森開業に
むけた協議スケジュール
が五月三十一日に示され
ました。県では並行在来
線利用に関する各種調査
と沿線市町の地域住民で
組織される青い森鉄道活
用会議の意見を踏まえて、
今年十二月に沿線市町の
負担割合も含めた経営計
画素案を示す予定として

おり、現時点では地元負
担について示されていま
せん。
青森開業に伴う初期投
資及び運営経費について
は県が中心となって対応

すべきであり、沿線市町
の財政運営に支障を与え
るような負担を求めない
よう、関係市町と連携し
て強く県に要望していき
ます。



通勤・通学時の下田駅

「みなくる館」 「いきいき館」 のあり方は

質問 「教育の殿堂」、「教育と教育委員会の独立の象徴」、「小中学生憩いの場」の観のあった『みなくる館』、「全国に先駆けた包括ケア制度の一大拠点」の謳い文句で建設されたはずの『いきいき館』が、かつての老若男女のコミュニケーションの場としての賑わい、佇まいを見せるように、部署の再配置ができないか。

答弁 いきいき館の業務を分庁舎一カ所で用事が足りるようにならないかとの意見があり、検証した結果、両論があったた



議員 芳信 西館

め総合的に判断し、課の配置については分庁舎に移転することになりました。今現在進めている指定管理者制度の導入とあわせて、両館のあり方については多くの意見を拝聴し、施設の有効利用について検討していきたい。

税の徴収と指定 金融機関について

質問 固定資産税の切符発送が例年の六月一日から五月一日となり、旧百石地区では町民の間に若干のパニックが見られた。事前に広報されたというが、改めてそのような背景、納税者に対する周知徹底の方法、国保税など他税での同様の変化の有無などを知らせていただきたい。

また、分庁舎には青銀に代わり、十和田信用金庫が指定金融機関として入ったが、利便性に欠けるとの話があり、改善の状況はいかがか。



みなくる館

通知書の発送を終え、六月末に国民健康保険税と介護保険料を発送します。今後は広報誌等を活用し、早めのお知らせに心がけるよう指示していきます。

答弁 町民の皆さんへの周知方法が十分でなかった点につきましては率直にお詫びを申し上げます。合併という大きな山を乗り越えるだけでなく、スピードと正確性も欠くことができないため、事務調整に多くの時間を費やした結果、周知方法が町民説明会及び毎戸世帯へのガイドブックの配布にとどまったことによるものと認識している。

五月末に住民税の納税

また、総合調整課内に行政サービスの窓口を設けるとともに、十和田信用金庫派出所を設置しているが、この派出所の業務は金融庁の指導のもと業務範囲が狭められているようではあるが、住民サービスが一番大事ですので十和田信用金庫へお願いしていきたいと考えています。

教育長の新町教育 行政への抱負は

果があると思う。そこで、我が町の教育行政のトップとして、今以上に教育の質を高め、教育基本法に謳われているその目的を達成すべく張り切っておられるであろう新教育長の抱負を聞きたい。

**就学援助制度
利用者の現状は**
質問 「保護が必要と思われる生徒のための就学援助制度を利用する生徒が全国では十二・八%、都内某所では四人に一人」などの報道を目にし、驚いている。

答弁 現下の社会状況の中で、特に、幼い子供たちや児童生徒が安心安全で心安らかな触れ合いのもとで、学習活動、交流活動がさらに進展するおいらせ町にしていかなければなりません。学校教育、社会教育、スポーツも含めての充実のため努力していきます。さらに、今次教育改革を有効ならしめるため、学校二学期制の導入を目指し、落ち着きのある学習の場を提供して学力の向上に努めていきます。

合併により、多くの英知が結集され、これを社会教育にも生かし、今以上に活性化して、町教育行政の進展を図っていきます。

我が町ではどの程度なのか、現行の援助対象、援助費目、額及び対象の審査認定等、制度の現状について聞きたい。

答弁 この制度を利用する本町の生徒は八・六%で、本年度の希望者二百四十名に対し、審査の結果二百二十一名が就学援助を受けています。金額は千五百七十万八千九百九十円で、修学旅行費、学用品の購入代、校外活動費、学校給食費等を援助し、小学校の入学には入学援助資金、中学校は入学金として支給しています。

審査については、扶養親族の数により収入の限度額が設定されています。

議長日誌

5月

- | | | | | | |
|----|---------------------------|----|-----------------------|----|----------------------|
| 1 | 日本一の自由の女神と桜祭りオープンングセレモニー | 21 | 木ノ下・下田中学校運動会 | 8 | 全国治水大会青森大会 |
| 5 | 第十二回CALPISこともの日全国少年野球教室 | 23 | 広報編集調査特別委員会 | 8 | 下田タウン(株)によるAED寄贈式 |
| 7 | 町文化協会設立総会議会運営委員会 | 25 | 上北郡町村議会議長会第一回定例会 | 9 | 第二回おいらせ町議定例会(～十五日) |
| 12 | 第二回おいらせ町議会臨時会 | 26 | 平成十八年度青森県高規格道路建設促進期成会 | 18 | 平成十八年度三沢地区消防団連合観閲式 |
| 13 | 日本フラインボール協会 | 27 | 百石小学校運動会 | 20 | 百石町物産振興協議会定例総会 |
| 14 | 第八回ASOSポーツ交流大会開会式 | 28 | 下田・木ノ下小学校運動会 | 21 | おいらせ塾第一期生開講式 |
| 17 | 町連合PTA設立記念祝賀会 | 29 | 納税貯蓄組合連合会設立総会 | 23 | 下田町農業協同組合第五十八回通常総会 |
| 18 | 町商工会平成十八年度通常総会 | | | 25 | 第二十一回おいらせ町いちようマラソン大会 |
| 19 | 平成十八年度青森県新幹線建設促進期成会総会 | 2 | (社)上十三法人会 | 28 | 三沢地区連合防犯協会定例総会 |
| 20 | 平成十八年度八戸地域県境不法投棄問題対策協議会総会 | 4 | 下田町支部通常総会 | | 下田町青少年育成町民会議解散総会並び |
| | 百石町商工会第四十五回通常総会 | | 木内々小学校運動会 | 29 | においらせ町青少年育成町民会議設立総会 |
| | 百石中学校運動会 | 5 | 第二十九回上北郡総合体育大会町選手団慰労会 | | 三沢地区暴力追放推進協議会理事会・総会 |
| | | | 議会運営委員会 | | ラジオ体操実行委員会 |

6月

議員研修

七月十三日にはるるプ
ラザ青森において、県下
町村議会議員研修が開催
され、当町からは十五名
が参加しました。

講師である毎日新聞社
東京本社編集局の特別顧
問岩見隆夫氏により、
「政局展望」と題して今
後の政局の見通しなどに
ついて講演が行われまし
た。



研修会場から

議会は自由に傍聴できます!

次回定例会は9月です。おいでになる際は事前に開会期日及び会場について
議会事務局にご確認ください。6月議会の傍聴者は35人でした。

編集後記

夏の楽しみと聞いて皆
さんは何を想像しますか?
私が一番楽しみにしてい
るのは各地で行われる花
火大会です。

日本の花火技術は世界
でもトップといわれます。
豪華であり、絢爛であり、
さらに繊細であることに
感動し、一瞬だけしか
ない眩しい輝きがどこか人
生の儂さを時々思い起こ
させます。不思議なこと
に花火は綺麗だったと感
じて、も、いったいどんな
花火があがっていたかは
まず記憶にないものです。
それでもいいと思います。
すべてを忘れ多くの人々
が夜空の光彩に酔いしれ
る：それだけで十分なの
です。夢と希望を与えて
くれるから花火大会には
たくさんの人が集まるの
です。せっかくだからこ
の新しい「おいらせ町」
にももっと大きな花火大
会が開催されればいいん
ですけど。

下川原 千秋記